

I. 油塗りとは、内住している複合の霊の動きと働きであって、手順を経た三一の神のすべての成分と彼の活動を、私たちの内なる存在の中へと適用します。それによって私たちは、完全に彼とミングリングされ、彼の団体の表現となります：

Iヨハネ2:20 あなたがたは聖なる方から油塗りを受けているので、あなたがたすべては知っています。
27 あなたがたの中には彼から受けた油塗りが住んでいるので、あなたがたは、だれにも教えてもらう必要はありません。彼の油塗りが、すべての事をあなたがたに教えます。この油塗りは真実であって、偽りではないのですから、油塗りがあなたがたに教えたように、彼の中に住んでいなさい。

油塗りとは、内住している複合の霊の動きと働きです。この霊は、出エジプト記第30章23節から25節の塗り油、複合の膏油によって完全に予表されています。…私たちが再生された時、聖なる方からのこのすべてを含む、命を与える霊は、私たちの中に入ってきて、いつまでも私たちの中に住まわれます。彼によって、幼い子供たちは御父を知り、真理を知ります。

A. 三一の神は、肉体と成ること、人の生活、十字架、復活、昇天の過程を経た後、すべてを含む、命を与える、複合の霊と成りました。

ピリピ1:19 というのは、あなたがたの祈り求めることと、イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが私にとって救いとなることを知っているからです

B. 彼は私たちの霊の内側にいて、三一の神の要素をもって私たちを油塗り、「塗って」います。この油塗り、この塗ることが進めば進むほど、三一の神と彼のパーソンと彼の経た過程は、ますます私たちの存在の中へと注入されます。

私たちの人の霊に内住している、すばらしいすべてを含む霊のゆえに、ハレルヤ！私たちの霊は小さな器官であるかもしれませんが、それにもかかわらず、このすべてを含む霊は私たちの霊の中に内住しているのです。

C. 私たちは、塗られた人、すなわち、油塗りで浸透された人になる必要があります。私たちは、ペンキが乾いていない人であるべきであって、神聖なペンキとしてのすべてを含む霊の新鮮な適用をいつも持っているべきです。それは私たちが、すべてを含む霊をもって他の人たちを塗るためです。

詩92:10 しかし、あなたは私の角を、野牛の角のように高く上げられました。私は新鮮な油を塗られているのです。
ゼカリヤ4:14 彼は言った、「これらは二人の油の子であり、全地の主のそばに立つ者です」。

このペンキ塗りが絶えず起こっているので、私たちの上のペンキは決して乾くはずはありません。そしてそのように塗られた人として、私たちは出て行って、複合の、すべてを含む、命を与える霊をもって他の人たちを塗るべきです。

D. クリスチャン生活は完全に、複合の霊によって油塗られる生活です。

II. 私たちが Iヨハネ第2章18節から27節を注意深く読むなら、油塗りの教えがおもに、神聖な三一に関して私たちに教える事柄であるのを見るでしょう:

Iヨハネ2:24 あなたがたは、初めから聞いていることを、あなたがたの中に住ませなさい。もし初めから聞いていることが、あなたがたの中に住んでいるなら、あなたがたも御子の中と御父の中に住んでいます。

ここでヨハネは、私たちが目的地の中に住むだけでなく、また道の中にも住む、すなわち、御子の中と御父の中の両方に住むことを示します。これは、御子と御父の両方が目的地であることを証明します。御父が住む場所であるだけでなく、御子も住む場所です。これは、御子が道と目的地の両方であり、住まいへと入る道と、住まいそのものの両方であることを意味します。

Iヨハネ2:27 あなたがたの中には彼から受けた油塗りが住んでいるので、あなたがたは、だれにも教えてもらう必要はありません。彼の油塗りが、すべての事をあなたがたに教えます。

A. 神聖な三一の構成である、すべてを含む、複合の霊の油塗りによって、私たちは父、子、霊を、私たちの命また命の供給として認識し、享受します。

B. 複合の霊はご自身をペンキとして私たちに適用することによって、三一の神と彼の活動に関して私たちに教えます。私たちはまた、複合の霊の要素が三一の神と彼の活動に関するさまざまな事柄を私たちに教えると言ってもよいでしょう:

1. それは言葉による外側の教えではなく、油塗りによる、私たちの内なる霊的知覚を通しての内側の教えです。この油塗りによる教えは、神聖な三一の神聖な要素、すなわち、油塗る複合の霊の要素を、私たちの内なる存在の中へと加えます。

2. それは、ある物に何度もペンキを塗るようなものです。そのペンキは色を示すだけでなく、何度も塗り重ねることによって、ペンキの要素が塗装される物に加えられます。

3. 三一の神はこのようにして、私たちの存在の内側の各部分すべてに浸透し、注入され、加えられるのです。それは私たちの内なる人が、神聖な要素をもって神聖な命の中で成長するためです。

4. 油塗りは私たちに、御子の中と御父の中に住むよう教えます。これは、主の中にとどまり、住むことであり、また神聖な命の交わりの中に住むことです。

Iヨハネ1:3 私たちが見たもの、聞いたものを、あなたがたにも伝えます。それは、あなたがたも私たちと交わりを持つためです。私たちの交わりとは、御父との、また御子イエス・キリストとの交わりのことです。

6 もし、私たちが神と交わりを持っていると言いながら、暗やみの中を歩いているなら、私たちは偽っているものであって、真理を実行していません。7 しかし、神が光の中におられるように、私たちが光の中を歩くなら、私たちは互いに交わりを持ち、御子イエスの血が、すべての罪から私たちを清めます。

5. 私たちは、すべてを含む油塗りの教えにしたがって、この住むことを実行すべきです。それは、私たちと神との交わりが維持されるためです。

- C. 今や私たちと有機的に一である三一の神は、ご自身に関して、主観的に、また経験的に私たちに教えています。油塗りは三一の神の動きであり、私たちの内側の享受と経験になります。
- D. 日ごとに私たちは三一の神との有機的結合の中にいるとき、彼を享受し、彼を経験し、また彼の中で、彼と共に、彼によって生きます。この生活は、三一の神に関する事柄についての恒常的な教えです。
- E. I ヨハネ第2章20節は、私たちは油塗りを受けていると言い、21節は、私たちは真理を知っていると言います。実際には、油塗りは真理の動きと働きであり、それは神聖な三一の実際、特にキリストのパーソンの実際です。

I ヨハネ2:20 あなたがたは聖なる方から油塗りを受けているので、あなたがたすべては知っています。21 私があなたがたに書いたのは、あなたがたが真理を知らないからではなく、むしろそれを知っているからであり、またいかなる虚偽も真理から出たものではないからです。

- F. 22節によれば、イエスがキリストであることを否定することは、御父と御子を否定することです。このことが強く示しているのは、イエス、キリスト、御父、御子が一であるということです。それらすべては、すべてを含む、複合の、内住する霊の要素、成分です。彼は今や絶えず信者たちの内なる存在を油塗っています。

I ヨハネ2:22 偽り者とはだれですか？ イエスがキリストであることを否定する者ではありませんか？御父と御子を否定する者、これこそ反キリストの者です。

- G. 23節においてヨハネは次のように続けています、「すべて御子を否定する者は、御父をも持っていない。御子を告白する者は、御父をも持っています」。御子と御父は一であり、分離することができないので、御子を否定することは、御父を持っていないことであり、御子を告白することは、御父を持っていることです。

I ヨハネ2:23 すべて御子を否定する者は、御父をも持っていない。御子を告白する者は、御父をも持っています。

イザヤ9:6 一人のみどりごが私たちに生まれる。一人の男の子が私たちに与えられる。主権は彼の肩にある。そして彼の名は、「不思議な助言者、大能の神、永遠の父、平和の君」と呼ばれる。

ヨハネ14:7 あなたがたが私を知っていたなら、私の父をも知っていたはずである。今からあなたがたは彼を知る。そしてすでに彼を見たのである。8 ピリポが彼に言った、「主よ、私たちに父を見せてください。そうすれば、私たちは満足します」。9 イエスは彼に言われた、「ピリポよ、私がこんなに長くあなたがたと一緒にいるのに、あなたは私を知らなかったのか？ 私を見た者は父を見たのである。どうしてあなたは、『私たちに父を見せてください』と言うのか？ 10 私が父の中におり、父が私の中におられることを、あなたは信じないのか？ 私があなたがたに語る言葉は、私が自分から語るのではない。私の中に住んでいる父が、ご自身のわざを行なっておられるのである。11 私を信じなさい。私は父の中におり、父は私の中におられる。しかし、もし信じないなら、わざそのものによって信じなさい。

H. I ヨハネ第2章24節においてヨハネが言っているのは、私たちが初めから存在したものの、すなわち、命の言を私たちの中に住ませるなら、私たちは御子の中と御父の中に住んでいるということです：

I ヨハネ2:24 あなたがたは、初めから聞いていることを、あなたがたの中に住ませなさい。もし初めから聞いていることが、あなたがたの中に住んでいるなら、あなたがたも御子の中と御父の中に住んでいます。

1. ヨハネ第15章4節によれば、私たちが主の中に住むとき、主は私たちの中に住みます。I ヨハネ第2章24節では、命の言が私たちの中に住むとき、私たちは御子の中と御父の中に住んでいると言います。

ヨハネ15:4 私の中に住んでいなさい。そうすれば、私もあなたがたの中に住む。枝がぶどうの木の中に住んでいなければ、自分だけでは実を結ぶことができないように、あなたがたも私の中に住んでいなければ、実を結ぶことはできない。

2. 再び、ヨハネは御父と御子を一つにしています。なぜなら、御父と御子は一であるからです。

ヨハネ7:18 自分から語る者は、自分の栄光を求める。しかし、遣わされた方の栄光を求める者は、真実であり、彼の中に不義はない。**10:30** 私と父は一である。

新約は御父と御子を分離していません。特にヨハネによる福音書で私たちは、御子が常に御父と一であることを見ます。御子は御父の御名の中で来られました。さらに、御子のご自身の働きとみこころを行なわず、ご自身の言葉を語らず、ご自身の栄光を求めず、ご自身を表現しませんでした。そうではなく、彼は常に御父の働きとみこころを行ない、御父の言葉を語り、御父の栄光を求め、御父を表現しました。

I. I ヨハネ第2章25節は言います、「これこそ、彼が私たちに約束された約束、すなわち、あの永遠の命です」:

1. 単数の代名詞「彼」は、前の節の御子と御父の両方を指しており、御子と御父が一であることを示します。

2. 私たちの神聖な命の経験に関する限り、御子、御父、イエス、キリストはすべて一です。

3. 私たちにとって永遠の命であるのは御子だけであって、御父はそうではないというわけではありません。イエスは御子と御父としてのキリストであり、彼が私たちに対する永遠の神聖な命であり、私たちの分け前となります。

4. 22節から25節の文脈によれば、永遠の命とはただ、イエス、キリスト、御子、御父です。これらはみな、永遠の命を構成するものです。このゆえに、永遠の命は、私たちの内側で動く、すべてを含む、複合の、内住する霊の要素でもあります。

J. 25節の永遠の命は、命の言であり、命の言はイエス、キリスト、御父、御子です。これらすべての項目は、複合の油塗る霊の中へと複合されている要素です:

1. イエスには肉体と成ること、人性、十字架があり、御父には神性があり、キリストには油塗る方と復活があり、御子には命があります。

2. ですから、私たちはこれらの要素と共に、複合の塗り油のすべての成分を持ちます。すなわち、神性、人性、肉体と成ること、十字架、復活、命を持ちます。

Ⅲ. 私たちは、反キリストの原則の中にある生活を送ることから守られる必要があります。反キリストの原則とは、キリストに逆らい、キリストに置き換わる原則、「反油塗り」の原則、すなわち、私たちの内側の三一の神の動き、働き、浸透に「反対する」ことです：

Ⅰヨハネ2:18 幼い子供たちよ、今は終わりの時です。反キリストの者が来るとあなたがたが聞いていたように、今でも多くの反キリストが来ています。それによって、終わりの時であることを知るので。

26 私は、あなたがたを惑わしている者たちについて、あなたがたにこれらの事を書きました。

A. イエスがキリストであるのを否定することは、油塗りを否定することと関係があります：

Ⅰヨハネ2:22 偽り者とはだれですか？ イエスがキリストであることを否定する者ではありませんか？ 御父と御子を否定する者、これこそ反キリストの者です。

1. 「キリスト」のギリシャ語は「クリストス(Christos)」であり、「油塗られた方」を意味します。「油塗り」のギリシャ語は「クリスマ(chrisma)」です。どちらの言葉も同じ語根に由来します。

2. 最終的に、油塗られた方は、油塗る方となります。事実、彼は油塗りとなりさえします。

油塗られた方としてのキリストが油塗りとなられることを見なければなりません。彼は油塗られた方であるので、満ちあふれる膏油を持っており、それをもって私たちを油塗ります。最終的に、油塗られた方は、油塗る方となります。事実、彼は油塗りとさえなります。イエスがキリストであるのを否定することは、イエスが油塗られた方であるのを否定することです。

3. イエスがキリストであるのを否定することは、彼が油塗られた方であるのを否定することです。これは、油塗りを否定することと等しいのです。なぜなら、油塗られた方は私たちの中へと入った後、油塗りとなるからです。

4. 反キリストであること、反油塗りであることは、御父と御子を否定することです。

反キリストとは何でしょうか？ 反キリストとは反油塗りである者です。さらに、22節によれば、反キリストであること、反油塗りであることは、御父と御子を否定することです。私たちはこのように油塗りに反対しないかもしれませんが、しばしばこの内なる油塗りに従わないことに同意しなければなりません。

敵の一つのこうかつさは、キリストのある面を否定し、それによってキリストを制限し、彼をもはやすべてを含むものとしなくすることです。もう一つのこうかつさは、三一の神が経験と享受のために私たちにとって主観的であることを否定し、神聖な三一を単に宗教のための客観的な教理として提示することです。…しかし聖書は、三一の神が単に私たちの信仰の対象であるだけではないことを啓示しています。彼は私たちにとって主観的であり、私たちの中に住んで、私たちの命また命の供給とされます。日ごと、時間ごとにさえ、私たちはこのように彼を経験し、彼を享受する必要があります。

B. もしだれかが聖書に啓示されたキリストのある面を否定するなら、その人の行なっていることが無意識に、また非意図的に行なわれたとしても、その人は反キリストの原則に従っているのです。同様に、もしだれかがキリストのある面を、キリストに属していないものをもって置き換えるなら、彼も反キリストの原則を実行しているのです。

Ⅱヨハネ 7 なぜなら、多くの惑わす者が世に出て来たからです。彼らは、イエス・キリストが肉体において来られたことを告白しません。これは惑わす者であり、反キリストの者です。

C. 私たちはみな、この言葉を自分自身に適用し、警戒して、何としても反キリストの原則に従うことがないようにする必要があります：

1. もし私たちがキリストのパーソンのある面を否定するなら、私たちは彼に逆らい、彼に反対するのです。もし私たちが日常生活の中でキリストに置き換わるものを持つなら、私たちはやはりキリストに逆らい、キリストに反対するのです。
2. もし私たちがキリストを私たち自身の良い性格や振る舞いに置き換えるなら、私たちは反キリストの原則を実行しているのです。実際的な方法で、私たちは油塗りに逆らい、私たちの内側の三一の神の動き、働き、浸透に反対しているのです。
3. 私たちは油塗りに反対するのではなく、油塗りにしたがって生活しなければなりません。そうでないと、私たちはキリストに逆らい、あるいはキリストを他の何かに置き換えるのです。私たちは日常生活の中で、キリストを多くの天然的で、宗教的で、文化的で、倫理的な事柄に置き換えるかもしれません。
4. 私たちはキリストを他の事柄に置き換えていることに対して悔い改める必要があります。私たちは反キリストの原則の中にある日常生活を送っていることに対して悔い改める必要があります。それは文化、宗教、倫理、天然の観念にキリストを置き換わらせてしまうのです。

D. 私たちは祈る必要があります、「主よ、すべての置き換えから私たちを救い、救い出し、解放してください。主よ、私たちをあなたの油塗りに連れ戻してください。私たちは何としても反キリストでありたくありません。私たちは反油塗りでありたくありません。主よ、私たちは内側の三一の神の動き、働き、浸透によって生き、歩きたいのです」。これが聖書の啓示であり、これはまた今日の主の回復における私たちの負担でもあります。

Ⅱコリント 1:21 しかし、私たちをあなたがたと共に、キリストへと堅く結び付けて、私たちに油を塗られた方は神です。

あなたは、私たちが日常生活の中で反キリストの原則に従うかもしれないことを認識しているでしょうか？ 私たちはキリストを、私たちの文化や天然の命のものと置き換えるかもしれません。…このようにキリストに置き換えることは、反キリストの原則を実行することです。

私たちは神聖な命の交わりについて語るとき、実は三一の神の経験と享受を意味しているのです。すでに見てきたように、この交わり、この享受は、私たちの内側の油塗りによって遂行されます。

- ① 御子のご自身の働きとみころを行なわず、ご自身の言葉を語らず、ご自身の栄光を求めず、ご自身を表現しませんでした。そうではなく、彼は常に御父の働きとみころを行ない、御父の言葉を語り、御父の栄光を求め、御父を表現しました。
- ② ビジネス・パーソンとして、あなたは自分のやりたいことを自分の方法で行ってはいけません。会社の方針に従って、あなたの部署の方針が決定されており、毎年のあなたの部署の計画はこれらの方針に沿って決められています。業務目標を決めたり実際に業務を遂行することにおいて、あなたは上司とアライメント(Alignment)をとらなければ会社や上司から評価されません。
主は地上で務めを開始されたとき、己を否み、自分の言葉を語らず、彼を遣わされた方、御父の言葉を語りました。なぜなら主は御父と一つであったからです。このことは主の働きの重要な原則を設定しています。御父と一になることは、アライメントをとることを含みます。同様に、あなたは自分の個人的な意見や感覚を脇にやり、会社と上司の方針や目標が何を言っているのかをよく理解し、それに基づいて業務の優先順位を立て、業務を遂行しなければなりません。この原則は、あなたが成功したビジネス・パーソンになるために避けて通ることのできない極めて重要な事柄ですので、必ずこの秘訣を学んでください。自分自身の意見や感覚を脇にやるためには、あなたは複合の霊の油塗りにあずかり、十字架の殺す効果を経験してください。
- ③ もし私たちが日常生活の中でキリストに置き換わるものを持つなら、私たちはやはりキリストに逆らい、キリストに反対するのです。もし私たちがキリストを私たち自身の良い性格や振る舞いに置き換えるなら、私たちは反キリストの原則を実行しているのです。実際的な方法で、私たちは油塗りに逆らい、私たちの内側の三一の神の動き、働き、浸透に反対しているのです。
あなたはビジネス・ライフで、主の祝福にあずかるために、複合の霊の油塗りの教えにしたがって主の中に住む必要があります。自分の観念、習慣、良い振る舞いなどにとどまることは「反油塗り」です。あなたは主に自分の観念を説明し、説得しようとしてははいけません。そうではなく、あなたは主と主の油塗りに完全に開いた人である必要があります。あなたは次のように祈ることができます。「主よ、私はこの事柄についてこのように感じています。しかし、あなたはどう思われるのでしょうか。私は自分の観念に固執して、『反油塗り』に従って在職生活を送ることはできません」。
- ④ 私たちは反キリストの原則の中にある日常生活を送っていることに対して悔い改める必要があります。それは文化、宗教、倫理、天然の観念にキリストを置き換わらせてしまうのです。あなたは祈る必要があります。「主よ、すべての置き換えから私を救い、救い出し、解放してください。主よ、私をあなたの油塗りに連れ戻してください。私は何としても反キリストでありたくありません。私は反油塗りでありたくありません。主よ、私は内側の三一の神の動き、働き、浸透によって生き、歩きたいのです」。

215 その靈の豊満—塗り油

- 1 わがうちでおしえる たえなるあぶら;
かみとまじわるために, われをみちびく。
(復) たえなるぬりあぶらは, わがうちにてみちびけり;
たえなるぬりあぶらは, すべておしえり。
- 2 うちにあるこう油は, せい靈の運こう;
主の血, 根拠とすこう油, 効き目はとわに。
- 3 かみの本しつをもて, われを塗りたいもう;
かみのせい分すべてを, われに浸透さす。
- 4 あぶらに塗らるとき, まじわりに入る;
ひかりのなかをあゆみ, あいに満たさる。

215 聖靈的豊満—膏油

- 1 奇妙的恩膏住我裡面, 凡事都將我教導;
將神的同在時常帶給我, 使我得與神相交。
(副) 在我裡面有一奇妙恩膏,
有一奇妙恩膏, 凡事都教導;
在我裡面有一奇妙恩膏, 凡事都將我教導。
- 2 聖靈的運行在我裡面, 柔細如同純膏油;
這乃是根據主血的洗淨, 並要存在到永久。
- 3 祂用神本質將我塗抹, 我得主觀認識神;
使我能得著神所有成分, 浸透我的整個人。
- 4 憑著這裡面生命塗抹, 我今行在交通中;
憑真理之光, 活在神裡面, 恩典之愛貫我衷。

266

1. Divine anointing in me dwelleth,
And it teaches me all things;
It ever leads me in the Lord to live
And to me His presence brings.
<chorus>
In my spirit the anointing dwells,
O the anointing dwells and
teaches everything;
In my spirit the anointing dwells
And ever teaches everything.
2. It is the moving of the Spirit
Gracious as the ointment pure;
'Tis based upon the sprinkling of the blood,
And it ever shall endure.
3. With God's own essence it anoints me,
God to know subjectively,
That I may have His very element
Fully saturating me.
4. 'Tis by this inner life—anointing
I in fellowship may move;
In God, the light of truth, I'm walking,
And the love of grace I prove..